おかやまトピック　Vol.3

『加藤勝信先生国政報告会・厚労大臣就任祝』

戦争を体験していない世代の私達からみれば、今回のパンデミックほど世界を変えた出来事は思い当たりません。国内で感染者が確認され、あれから２年半。もはやコロナ前の生活を思い出すことが難しくなっています。



そんなコロナとの闘いで最初に指揮を取ったのは、当時厚労大臣だった加藤勝信先生でした。各国がロックダウンしている中、国民の自由を守る緊急事態宣言で対応しながら感染者数・死者数共に少なく抑え、当時は世界的に見てもコロナ対策に成功した国に数えられたと思います。

そして世界最多の感染者数を記録している今、再度厚労大臣に就任されたのも加藤勝信先生です。



"コロナを終わらせる"そんな大きな課題に挑まれている加藤先生からは、日本経済を元に戻し、さらにグリーン・デジタル分野のイノベーションについても語られました。この分野には既に日本の大企業も参入しており、コロナ前とコロナ後の産業の在り方の違いと、今は時代の変わり目であることをはっきりと認識させられます。

かつて高度経済成長の時代には国民の健康的な生活をサポートすることにより、私たち柔整師は大きな信頼を得て飛躍することに成功しました。

そして今から迎える新しい時代に国民から信頼されるためには、一人ひとりの知識や技術の向上と業界の団結の両輪が欠かせないのではないかと改めて感じました。

加藤先生が官房長官時代に、秘書の方から「代議士は岡山が大好きで、しょっちゅう帰っ



て来られます。流石にこの役職では無理ですが」「帰岡した際は予定を詰め込んでハードスケジュールにするのですが、岡山に居るだけで休日のようにリフレッシュできるみたいです」と機密情報を教えていただきました。

今回の国政報告会・厚労大臣就任祝いはそんな大臣に岡山の休日を堪能していただきながら、多くのお願いをさせていただく目的で開催いたしました。参加してくれた会員の岡山弁での岡山情報は大臣にパワーを与えてくれたと確信しています。そして柔整の現状をご説明させていただき、さらに改善の要望を正確にお伝えするために、日整から伊藤述史会長はじめ三役にご参加をお願いして多くのお願いをさせていただきました。





加藤厚労大臣の両肩にはコロナ対策だけでなく、国民生活の保障・向上、社会福祉、社会保障、働く環境の整備、少子高齢化、などなど問題がたくさん乗っかっています、そんな大臣にこれからも柔整の課題解決にもお力をお貸しいただければ、こんなに心強い事はありません。

私の還暦祝いよりも早いであろう、加藤先生の次の〇〇就任祝の事を考えながら原稿を書いていますが、先日の台風被害が嘘のような快晴です。不正や不祥事、そのせいで失いつつある信頼、柔整の未来を考えると下ばかり見てしまいがちになります。しかし今日の秋空からは「もっと上を見ろ、空は果てしない」そんな声をかけられているように勝手に思いながら・・・・・・。今日もスーパーの半額惣菜でハイボールをいただきます。

